

# 2009年2月期 決算参考資料

米久株式会社  
(東証一部：2290)

## 1. 当期の業績

### (1) 連結

金額単位 百万円

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	前回(第3Q)予想
売上高	172,613	166,046	4.0	172,200
営業利益	4,646	4,102	13.3	5,020
経常利益	4,635	4,103	13.0	4,900
当期純利益	1,001	2,189	△54.3	1,170
EPS (円)	34.85	76.18	-	-
ROE (%)	2.8	6.3	-	-
ROA (%)	6.4	6.2	-	-

注)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出しております。

### (2) 単体

金額単位 百万円

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	前回(第3Q)予想
売上高	136,559	122,821	11.2	137,500
営業利益	490	677	△27.6	690
経常利益	1,333	1,037	28.5	1,440
当期純利益	167	431	△61.2	290
EPS (円)	5.82	15.01	-	-
ROE (%)	0.5	1.3	-	-
ROA (%)	2.8	2.6	-	-

注)ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出しております。

## 2. 業績の推移

### (1) 連結

金額単位 百万円

	2005年2月期	2006年2月期	2007年2月期	2008年2月期	2009年2月期
売上高	128,332	138,398	145,777	166,046	172,613
営業利益	4,025	3,640	4,083	4,102	4,646
経常利益	4,275	3,682	4,079	4,103	4,635
当期純利益	2,543	1,329	1,043	2,189	1,001
総資産	62,211	66,847	71,053	77,465	83,903
一株当たり株主資本(円)	1,141.08	1,185.66	1,183.60	1,227.30	1,227.52
EPS (円)	87.07	44.92	36.30	76.18	34.85
ROE (%)	8.0	4.0	3.1	6.3	2.8
ROA (%)	7.7	6.4	6.6	6.2	6.4
トピックス	04/1米国羊腸製品停止 04/4消費税総額表示 04/8豚肉セーフガード 猛暑、台風、秋から円高	05/3米国羊腸解禁 05/8豚肉セーフガードなし 原料高、円安が進行 原油高、豪雪	原料高、円安、鶏相場安 06/7米国牛肉輸入再開 06/8豚肉セーフガードなし 06/3,7,9一部製品値上げ	原油・原料高、食品値上げ 前半円安、後半円高 07/6ひき肉偽装事件 08/1中国冷凍餃子事件	08/9リーマンショック 原油・飼料高、後半急落 主原料高続、副原料高騰 鶏肉相場前半高、後半安

### (2) 単体

金額単位 百万円

	2005年2月期	2006年2月期	2007年2月期	2008年2月期	2009年2月期
売上高	105,635	111,467	111,270	122,821	136,559
営業利益	3,009	2,169	1,636	677	490
経常利益	3,117	2,464	2,221	1,037	1,333
当期純利益	1,547	1,291	635	431	167
総資産	50,302	51,762	50,415	54,475	57,970
一株当たり株主資本(円)	1,136.33	1,171.84	1,154.03	1,136.22	1,120.68
EPS (円)	52.74	44.05	22.09	15.01	5.82
ROE (%)	4.8	3.9	1.9	1.3	0.5
ROA (%)	7.5	5.5	4.8	2.6	2.8

### 3. 当期の業績に影響を与えた主な項目

- (1) ハム・ソーセージ等の主原料用輸入食肉および副原料・包装資材の価格が上昇、加工品・食肉事業の利益を圧迫
- (2) 為替(対USDドル)は年間通じて円高基調、特に秋口の世界的な金融危機以降に急騰し、輸入仕入れコストが低下
- (3) 国内食肉相場は、鶏肉が前半はかつてない高値で推移するも後半下落、豚肉も同じく前半高の後半安、牛肉は低迷続く
- (4) 国産鶏肉価格上昇を受けて輸入量が拡大してきたブラジル産輸入鶏肉の価格が昨年秋以降急落し、利益に影響
- (5) 昨年初の中国産冷凍食品事件以降、消費者の中国商品離れが加速し、中国関連の売上高が減少
- (6) 収益性悪化の海外事業撤退を推進、南通富士美食品有限公司の全出資持分およびCP-Yonekyu Co.,Ltd.の全株式を譲渡
- (7) 子会社のチムニー(株)が積極的な出店を続け、売上高と利益が増加
- (8) 当期末の連結子会社は1社減少(南通富士美食品有限公司)
- (9) 当期末の持分法適用会社は1社減少(CP-Yonekyu Co.,Ltd.)

### 4. 当期の部門別売上高(単体)

金額単位 百万円

	2007年2月期			2008年2月期			2009年2月期			
	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	
加工品	ハム等	24,664	22.2	△1.4	26,446	21.5	7.2	28,680	21.0	8.5
	ソーセージ	7,379	6.6	14.5	7,955	6.5	7.8	9,841	7.2	23.7
	デリカテッセン	14,768	13.3	△3.9	13,790	11.2	△6.6	13,032	9.6	△5.5
	計	46,812	42.1	△0.0	48,192	39.2	2.9	51,553	37.8	7.0
ビール	727	0.6	25.3	736	0.6	1.2	681	0.5	△7.5	
食肉他	63,730	57.3	△0.5	73,892	60.2	15.9	84,324	61.7	14.1	
合計	111,270	100.0	△0.2	122,821	100.0	10.4	136,559	100.1	11.2	

### 5. 配当の状況(単体)

	2007年2月期	2008年2月期	2009年2月期
1株当たり配当金	18円	18円	18円
配当性向(%)	81.5	119.9	309.3
株主資本配当率(%)	1.5	1.6	1.6

### 6. 連結子会社一覧(15社)

金額単位 百万円

会社名	持分割合(%)	売上高	総資産	事業内容
(株)マルフジ	100.0	1,962	244	食肉の卸売業
おいしい鶏(株)	100.0	3,520	738	鶏肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	60.0	1,640	272	豚肉の加工・販売
米久東伯(株)	100.0	6,370	2,801	鶏肉の生産・加工・販売
<b>国内食肉供給会社計</b>		<b>13,492</b>	<b>4,057</b>	
(株)日宏食品	100.0	1,800	426	ソーセージの製造
米久デリカ(株)	100.0	6,070	2,532	ハム・ソーセージの製造
米久かがやき(株)	100.0	12,497	1,516	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
ヤマキ食品(株)	100.0	2,348	1,269	冷凍デリカ製品の製造
(株)セブンフードサービス	100.0	1,388	600	弁当・惣菜の製造・販売
<b>国内加工品生産会社計</b>		<b>24,105</b>	<b>6,345</b>	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	3,367	1,013	ソーセージの製造
如皋米久食品有限公司	83.7	513	747	デリカ・ソーセージの製造
<b>海外加工品生産会社計</b>		<b>3,881</b>	<b>1,760</b>	
チムニー(株)	47.0	38,698	22,738	居酒屋チェーンの経営とFC展開
御殿場高原 ビール(株)	54.0	1,984	922	地ビールレストランの経営
<b>国内外食・レストラン経営会社計</b>		<b>40,682</b>	<b>23,660</b>	
(株)吉野屋	100.0	553	285	書籍等の販売
(株)平田屋	100.0	1,609	788	菓子等の製造・販売
<b>その他の会社計</b>		<b>2,162</b>	<b>1,074</b>	
<b>&lt; 連結子会社合計 &gt;</b>		<b>84,324</b>	<b>36,898</b>	

その他、持分法適用会社2社

・加工品・食肉事業  
・外食事業

ときめきファーム(株)  
ふじやまビール(株)

## 7. 当期の業績

### (連結業績について)

#### (1) 売上高

米久(株)では、第4次中期経営計画の基本戦略に基づいて加工品販売数量拡大に努め、ハム等及びソーセージの売上高が増加、特にソーセージは下半期の伸び率が高くなりました。一方、デリカテッセンは上半期が中国製品への逆風と当社中国事業の撤退影響で大幅減となったものの、下半期は減少幅が縮小しました。これらの結果、加工品全体の売上高は増加となりました。また食肉では、豚肉と鶏肉が上半期に相場の後押しとブランド・ミート伸長により大幅増となったものの、下半期は相場下落などにより伸び率が低下しました。一方、牛肉は上半期で増加したものの、相場低迷もあり、下半期は前年並みとなりました。しかしながら食肉全体では大幅な増加となりました。その結果、米久(株)の売上高は11.2%と高い伸びとなりました。連結子会社では、居酒屋経営のチムニー(株)が47店舗増加、売上高を12.4%と大きく伸ばしました。また、御殿場高原ビール(株)は微減となりました。なお、昨年2月に米久ベンディング(株)の株式譲渡を行い、同社が連結除外となりました。

これらの結果、連結売上高は65億67百万円増加(前期比4.0%増)の1,726億13百万円となりました。

#### (2) 売上総利益

米久(株)では、主・副原料の価格上昇および下半期におけるブラジル産輸入冷凍鶏肉の価格急落などにより、売上総利益率が低下したものの、売上高の高い伸びもあり、金額では5億9百万円の増加となりました。連結子会社では、ブロイラーの生産・加工を行っている米久東伯(株)が、飼料価格上昇はあったものの、前半の国産鶏肉の相場高にも支えられ、利益が大幅に増加、ブロイラーの加工を行っているおいしい鶏(株)も同様に利益が増加しました。また、業務用ソーセージを生産するYONEKYU U.S.A., Inc.も中国産からの需要シフトもあり利益が増加しました。チムニー(株)は直営店舗を15店舗増やしたことにより、売上高と同様、売上総利益も大幅に増加しました。

これらの結果、連結売上総利益は1億97百万円増加の424億76百万円(前期比0.5%増)となり、連結売上総利益率は0.9%低下の24.6%となりました。

#### (3) 販管費、営業利益

米久(株)では、売上高の増加による物流費増や、新基幹システム稼動に伴う減価償却費増、また貸倒引当金の積み増しなどもあり、販管費全体では6億96百万円の増加となりました。しかしながら、売上高が高い伸び率となったことから、売上高に対する販管費率は0.5%低下の9.7%となりました。また、チムニー(株)は引き続き直営店舗増に伴う人件費・家賃・減価償却費・水道光熱費等の増加があったものの、売上高販管費率は0.6%低下となりました。なお、米久ベンディング(株)が連結除外となったことにより、連結上の販売手数料が大幅に減少しました。

これらの結果、連結販管費は3億46百万円の減少、売上高販管費率は21.9%と1.1%低下し、連結営業利益は5億43百万円増加の46億46百万円(前期比13.3%増)となりました。

#### (4) 営業外収支、経常利益

営業外収益が15百万円、営業外費用は4百万円のそれぞれ減少となりました。なお、持分法による投資損失は33百万円の減少となりました。

これらの結果、連結経常利益は5億32百万円の増加の46億35百万円(前期比13.0%増)となりました。

#### (5) 特別損益、税金等調整前当期純利益、当期純利益

特別利益につきましては、当期において受取補償金、関係会社株式売却益がありましたが、前期に米久ベンディング(株)の譲渡益、チムニー(株)の公募増資に係る持分変動利益等があり、連結特別利益は21億36百万円の減少となりました。

特別損失につきましては、中国事業撤退などに係る事業整理損失引当金繰入額として9億30百万円、固定資産除却損として2億98百万円計上したことなどにより、連結特別損失は9億23百万円の増加となりました。

これらの結果、税金等調整前当期純利益は25億27百万円減少の29億40百万円(前期比46.2%減)となりました。また、法人税等が12億95百万円、少数株主持分利益が43百万円それぞれ減少し、当期純利益は11億88百万円減少の10億1百万円(前期比54.3%減)となりました。

### (単体の売上高、数量について)

単体における食肉全体では売上高が14.1%、数量が11.3%それぞれ増加となりました。畜種別では、豚肉が売上高14.0%、数量13.1%それぞれ増加、牛肉が売上高6.3%、数量13.5%それぞれ増加、鶏肉が売上高23.1%、数量8.2%のそれぞれ増加となりました。

次に加工品は、ハム等でロースハム・ベーコンに加え、焼豚も大きく売上高・数量が伸張、一方、ローストビーフは一部の高価格帯製品を除き減少しました。ソーセージにおいてもYONEKYU U.S.A., Inc.による業務用製品が引き続き増加するとともに、国内のコンシューマー製品も好調を持続しました。一方、デリカテッセンは、中国商品への逆風などにより、特に上半期において売上高が大きく減少しました。その結果、ハム等は売上高8.2%、数量12.2%それぞれ増加、ソーセージは売上高23.7%、数量25.8%それぞれ増加、デリカテッセンは売上高5.5%、数量15.6%それぞれ減少となりました。

## 8. 次期の業績に影響を与える主な項目

- (1) 2004年後半以降上昇が続いたハム・ソーセージ等の原料用輸入豚肉価格が低下と予想
- (2) 昨年後半からの世界的な資源価格低下を受け、前期大幅に上昇した副原料・資材価格も低下と予想
- (3) 昨年下半年秋口以降、急落したブラジル産冷凍輸入鶏肉の相場が上半期中に回復と予想
- (4) 為替レートは足元の状況を勘案し、1ドル=100円と想定

## 9. 次期の業績予想

(1)連結

金額単位 百万円

	中間		通期	
	金額	伸び率(%)	金額	伸び率(%)
売上高	89,200	5.1	181,500	5.1
営業利益	2,650	0.3	6,540	40.7
経常利益	2,670	△1.6	6,550	41.3
当期純利益	940	70.9	2,300	129.8
E P S (円)	32.71	—	80.07	—

(2)単体

金額単位 百万円

	中間		通期	
	金額	伸び率(%)	金額	伸び率(%)
売上高	70,500	2.7	142,000	4.0
営業利益	800	22.1	1,900	287.7
経常利益	1,000	13.7	2,300	72.5
当期純利益	520	—	1,100	557.3
E P S (円)	18.09	—	38.29	—

## 10. 次期の部門別売上高予想(単体)

金額単位 百万円

		中間			通期		
		金額	構成比(%)	伸び率(%)	金額	構成比(%)	伸び率(%)
加工品	ハム等	15,100	21.4	1.6	29,170	20.5	1.7
	ソーセージ	5,700	8.1	14.5	11,000	7.8	11.8
	デリカテッセン	6,370	9.1	9.5	14,800	10.4	13.6
	計	27,170	38.6	5.9	54,970	38.7	6.6
	ビール	370	0.5	2.0	700	0.5	2.4
	食肉他	42,960	60.9	0.7	86,330	60.8	2.4
	合計	70,500	100.0	2.7	142,000	100.0	4.0

## 11. 設備投資及び減価償却費

(1)設備投資額 金額単位 百万円 注)チムニー株の設備投資金額には保証金を含んでおりません。

		金額	主な内容
			連結
	次期予想	5,100	チムニー 新規出店32億円、米久東伯 養鶏4億74百万円・工場2億57百万円 米久かがやき 工場設備更新等2億9百万円
単体	当期実績	806	新基幹システム 4億94百万円 夢工場 包装設備56百万円、富士工場 フリーザー78百万円
	次期予想	900	工場設備増産・効率化 2億29百万円、既存生産設備更新1億36百万円 ソフトウェア1億91百万円

(2)減価償却費

金額単位 百万円

	当期実績	次期予定
連結	3,797	3,700
単体	993	950